

今年もまたクリスマスがやってきましたね。今年はいブも含めて三連休。無宗教の私にとつては：いや、特に予定もない私にはどうでもいいイベントです。カレンダーがとつても嫌味に映る今日この頃。(笑)

21世紀の初めの年である、記念すべき2001年。皆様にとつて素敵な一年だったでしょうか？

最近ご無沙汰してしまっている人も、そうでない人も、今日はY子ちゃんのこの1年の出来事を一緒に楽しんで下さい。一部の方々には、年度初めに「新入社員物語」なるものをEメールで配信させていただいていますが、その後連絡がふつり途絶えてしまいました。ごめん下さい。この場を借りて、ご連絡

「生きてます。」

最後の学生生活

17年間ずっと持ちこたけていた「学生」という肩書きとの別れがついにやってきました。最後の一年は学生というより、フリーターだったような気も…。

* アルバイト *

一月と3月は殆ど毎日アルバイト。実は大学4年まで、飲食店でアルバイトをしたことのないY子。「でも一度は飲食系も経験しとかなないと…」とある種の義務感から、就職活動後、ダメモトで面接へ。運良く採用してもらい(店長に感謝!)卒業旅行の資金をこつこつと貯めたY子でした。

働いていたのは、有楽町の「ホイリゲンハウス」という、ウィーン風居酒屋。そこで、アルプスの少女ハイジのような、ち

よつとフリフリの制服を着て、ワイン片手に営業スマイルを振りまいていたY子ちゃん。そのY子ちゃんのコスプレ(?)姿を見逃したあなたのために!! 特別に写真を掲載しておいたので、堪能して下さい。

一緒に写っているのは、当時劇団所属のとってもかわいいSさん。今は目標にむかってバイト三昧。もう一人は、イタリア通で、30代とは思えない美しさのHさん、巨人の



松井と岸谷五郎に似ているTさん、その他にも名古屋の彼と遠距離恋愛中のUさん、念願の福祉施設に就職が決まったHさん、レモンのような大きな目がとっても印象的なM君などなど、バイト仲間にも恵まれ、学生時代最後のバイトとして、Y子のとてもいい思い出になりました。

ところで、ホイリゲンハウスは、有楽町という場所がら、いろいろな大企業の方々も飲みにきます。もちろん、Y子ちゃんも今勤めているT海上の方も…。

しかし皆様、酔ってしまえばただの人…。おやじギャグの大連発。「野茂ちようだい!」って騒いでいるから何かと思えば、ビールのピッチャー。お代わりの時はもちろん、リリーフ、リリーフって大騒ぎ。

「中ピン2本!! 何で二

本だかわかる?? 僕たち日本人だから」といった寒い冗談も…。領収書を頼まれて、「あらまあ、あなたが天下の課長さん…?」なんてことしばしば…。

トイレの場所を知りたくて、「おちっこあ」といつて店員に近づいてきた法務省のお役人さんもいたとか…。

有楽町でこのお店をみつけたら、立ち寄ってみて下さいね。

さて、一月と三月はアルバイト三昧だったY子ちゃん。二月は何をしていたのでしょうか??? 冬眠??? いいえ、学生生活最後のビックイイベントといえば、卒業旅行です。卒業旅行に関しては、号外で、ご報告

* 卒業式 *

こうして向かえた卒業式。すばらしいお天気でもウキウキ。実は、4

年前のY子達の入学式は、大雨で大変だったです。

傘をさした大勢の新入生サークルの勧誘に必死な学生達がR大学の狭いキャンパスにひしめき合っていて、身動きが取れないような状態でした。懐かしい…。

入学式なんてついこの間のようなのに…。振り返ってみると本当に早い4年間。皆様、あすなろ白書というドラマ見ました?? 香港では「東京純愛白書」という題名らしいのですが…。「なるみいつ」って、木村拓哉が叫んでいるドラマ。あれはちょうどY子が高校生の時で、大学生活ってあんな感じなのかなあ

と漠然と思い描いていたのですが、やっぱり現実は、ドラマとはだいぶ違うもの。地味だけど、いかにY子らしい4年間でした。

それは余談ですが、やっぱり卒業というのにはちょっと寂しいものです。

第一食堂名物のかつ丼とも、試験前にお世話になった近くのコピー屋さんともお別れ…。

R大学は講堂が狭いため、学部ごとに卒業式をします。法学部は幸か不幸かトップバッターで十時からの式。Y子にとっては完全な不幸。朝5時に起きて、6時ごろには着付けを始めてもらったため、朝からお疲れモードでした。でも一年ぶりにくりに会った友達もいて、同窓会のような楽しい卒業式でした。

Y子が就職したのは損保のT海上。そして丸の内勤務の夢ははかなく破れ、配属されたのは、地元の千葉北支社というところで、Y子の職場の千葉北支社をご紹介します。

*** 千葉北支社 ***

Iさん(支社長)

禁煙中?? ニコレットを噛んでいる姿をしばしば見かける今日この頃。

モットーは「一円でモアイタマゴ??」

Nさん

口癖は「まいっちゃうな」「もー、勘弁してよあー」。

Tさん



Y子就職

Y子が就職したのは損保のT海上。そして丸の内勤務の夢ははかなく破れ、配属されたのは、地元の千葉北支社というところで、Y子の職場の千葉北支社をご紹介します。

Y子が就職したのは損保のT海上。そして丸の内勤務の夢ははかなく破れ、配属されたのは、地元の千葉北支社というところで、Y子の職場の千葉北支社をご紹介します。

Y子の同期。140人

あつたなかで3、4人しかいない貴重な女性総合職の一人。

Uさん

レタスを一日一つ食べるとか…。(ドレッシングはかけません) そのお

Iさん

英語が堪能。玄米と秘境が好き??。名言は「いやいやいやあー」「サンキューベリーマツチョ」。

Sさん

ここ数年、破れつつつけている転勤の願い…。今年もだめでした。来年こ

そは…。

Tさん

7月に千葉に転勤してきて以来、日に日にやつれている…。趣味は家族サービス(本人談)。

Sさん

Y子の同期。140人

あつたなかで3、4人しかいない貴重な女性総合職の一人。

Uさん

レタスを一日一つ食べるとか…。(ドレッシングはかけません) そのお

Iさん

英語が堪能。玄米と秘境が好き??。名言は「いやいやいやあー」「サンキューベリーマツチョ」。

Sさん

ここ数年、破れつつつけている転勤の願い…。今年もだめでした。来年こ

かけか、つるつる美肌。

Fさん

Y子の先生。Y子の質問により、仕事を中断されることしばしば。代理店さんからはボスと呼ばれることも…。お酒に強い??。

Sさん

Y子の同期。140人

あつたなかで3、4人しかいない貴重な女性総合職の一人。

Uさん

レタスを一日一つ食べるとか…。(ドレッシングはかけません) そのお

Iさん

英語が堪能。玄米と秘境が好き??。名言は「いやいやいやあー」「サンキューベリーマツチョ」。

Sさん

ここ数年、破れつつつけている転勤の願い…。今年もだめでした。来年こ

うゝ」の「うゝ」に多くの男性がドキドキするはず。

Oさん

十八番は誕生日の歌と松田聖子。Y子の書類不備が多くて、ご迷惑かけっぱなし。企画力超A級。

Sさん

年下の旦那様と「超」

ラブラブ。二人でTDL行ったりして、Y子羨望のまなざし…。

Sさん

一児の母。その柔らかな雰囲気からは想像できないほど考え方は現実的。

Sさん

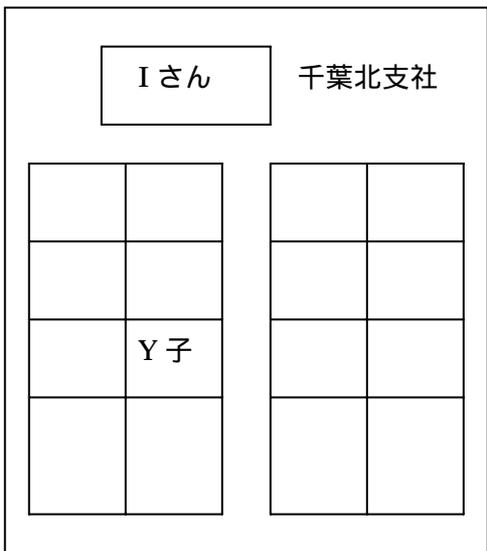
かっこいい息子さんが二人。Y子がもう少し若ければ…。

Hさん

Y子の、Hさんの物まねは、はつきり言ってます。

中央支社のNさん

隣の支社から特別参加の同期のNさん。天性の面白さで、かなり笑わせてもらってます。





支社の遠足?? Y子の友達の感想……
 「地方の零細企業に就職したみたいだね。」
 Y子 「おっしやる通り……」

ルナ会

月に一回集まるので、「ルナ会」と命名された総勢10人の同期会。ルナ会もあつという間に9回目を迎えようとしています。

ここでは、営業に配属された人と、損害(事故が起こったときに対応する部署)に配属された人の情報交換や、同期の噂

Sちゃん結婚

ついでに!! Y子

披露宴デビュー

この夏学生時代の友達のSちゃんが結婚しました。

「おめでとー!!」

Sちゃんは、Y子にと

話などなど、話題は盛りだくさん。そしておいしいものも盛りだくさん。

つてとても大切な友達。よく散らかすところはY子と似てるかも。その半端じゃない散らかし方も……。

Sちゃんは、つばめグリのラム肉が大好きで、Y子もその影響でつばめグリのファンに……。今振り返ってみると、確かにSちゃんは肉好きでした……。

結婚式の時の新郎の言葉を聞いて、そんなことを思い出したY子。S子は、女子栄養大学を卒業し、栄養士の資格もあるんですが、S子本人は大変な肉食なので、栄養士の資格を剥奪しようかと思っています。Sちゃん、剥奪されないようにね……。

結婚式では、すっかり痩せてきれいになったSちゃんと、緩みつぱなしの新郎の顔に、Y子降参。Sちゃん、ゴリラのような(Sちゃん談)やさしそうな旦那様とお幸

せに……。おめでとー!!。さて、最後に……。結婚式といえば二次会での出会い……。ご報告させていただきますと、「特になし」のY子でした。

*** **

号外なのになぜか同じ紙面に……。それでは号外をお楽しみください。

卒業旅行

というわけでY子のヨーロッパ紀行はじまりはじまりい。

ヴッパータール

ドイツ

やってきました卒業旅行!!。往復6万弱の格安航空券をゲットしたY子。なぜか勢いで両親も連れて行くことになり……。今はなき、スイス航空で、チューリヒ経由ベルリンへ。両親は初めての海外旅行で、窓から見える風景に大興奮でした。歳のわりには体力のある二人。貧乏旅行なので、宿泊はユースホステル、さらに夜行電車



での移動、ひたすら歩かせたものの、結構元気でY子はびっくりでした。

日程

1月30日	出発
1/30	西親と独の旅
2/4	Rと仏・伊の旅
2/13	Hostfamilyと再会
	Sと蘭の旅
	そして一人旅
2/21	もう一人のRと
2/27	3カ国の旅
2月28日	帰国

ベルリン、ミュンヘンなどの主要都市、そして昔Y子が留学していたヴッパータールという町などを賞味5日間でご案内。そしてジュッセルドルフの空港で二人を日本に見送り、私は友達Rの待つパリへ……。空港でのY子は、初めて子供を一人旅させる親の気分を疑似体験……。ちゃんと飛行機の乗り継ぎができるかしら……??



パリへ

そしてY子はその足で、Rちゃんの待つパリへ。

車中、頭の中には、「世界の車窓から」のテーマ曲が流れつづけ・・・電車にゆられて6時間。午後の9時半にパリ東駅へ。

RはY子の学生時代の数少ない(?)友達です。前日にパリに到着し、その日はパリ東駅にY子を迎えに来る予定になっていました。

予定より早く着いてしまったY子ちゃん。しか

も、思ったより地味な駅・・・。そして実は小心者のY子。

「このままRと会えなかったら、夜行電車でドイツに戻っちゃおう」なんて考えながら、Rが来るのを今か今かと待ちつづけていました。そしてついに・・・。映画のワンシーンにもなりそうな(?)ハグで二人のフランス・イタリアの旅は始まりました。

フランスの旅

その日宿泊したのは、「地球の歩き方」で「個性的」と形容されている一つ星のホテル。その名も「エスメラルダ」。セーヌ川沿いのとてもいい立地条件ではあるけれども、かなり怪しげ。まあ、よく言えば「個性的」ということにはなるのだろうか・・・。

翌朝、窓からは近くの公園を散歩する人やゴミ

収集車がごみを集めるのがよく見えて、それだけで幸せなY子。

街角のカフェで、クロワッサンを食して、気分はすっかりパリジュンヌ。その後3日間パリを満喫したY子とRちゃん。宿泊はユースでリーズナブルに

そして浮いたお金で、パリ滞在のなか日に本格的なフランス料理を食したY子達でした。しかし生まれながらにして貧乏性のY子ちゃん。最後のコーヒーマグ一杯をけちつてしまつたのです。そんなY子にRは多分いつもじれったさを感じているは



ず・・・。「あー、まただよ・・・」って。

パリは広くて、方向音痴味のY子にとっては難易度Aです。Rのおかげで、迷子にならずに済んだけれど・・・。

今回びっくりしたのは、パリも場所によって、住んでいる人も雰囲気も全然違うということ。大雑把に例えるなら、ノートルダム近くの青山とか銀座のイメージで、

モンマルトルのほうは、浅草とか巣鴨のイメージです。

パリ3日目の夜、夜行電車に乗って二



いつでもどこでも寝られる「のび子ちゃん」なのです。



パリ市内 イトルダム近辺



ちょうど夜明けのころ、電車はマルセイユに到着

そこから二ーヌまでの車窓からの眺めはY子のイチオシ。青い海と、山とその間に広がる街並みが本当にきれいです。Y子が電車に乗っていたのは朝だったので、更にそこにきらきらした朝日がさして、もうお腹いっぱいでした。

そして二ーヌ到着後、まずは予約したホテルへ。日本語でいうなら「民宿」に近いかも。家族でやっている、家の一部を宿泊施設にしているようなイメージです。

しかしこの夫婦、英語が全くわかりません。よく言われているような、「わからないふり」をしているのではなく、本当にわからないのです。Rちゃんが日本から電話で予約してくれてあったはずなのですが・・・。「予約した・・・です」と英語で言っても全然理解している様子なし。

「トウ・ナイト」だけ
 言っても通じない…。
 「ドウ、ニユイ??」と
 フランス語らしき言葉で
 聞き返してくるし…。
 そして、意思疎通を試み
 ること20分ほど…。よ
 うやくお部屋に案内され
 ました。運良く空いてい
 ただけで、予約は入って
 いなかったのでは…と
 いうがY子たちの予想。
 Rちゃんが、日本から予
 約した直後に話していた
 ことがY子に鮮明によみ
 がえり…。



モナコでは海をのんびり
 眺め、カジノは外から拝
 み、そしてカジノの近く
 に駐車されている高級車
 と、カフェでくつろいで
 いるお金持ちもちそうな
 人々を、しばし観察。

「こつちが英語で話して
 いるのに、『ウイ』しか言
 わないの。ホント、英語
 嫌いだよな。」
 あの夫婦、全く理解して
 ないのに、ウイウイ言っ
 てたんだね…。
 さて、宿に荷物をおい
 て、二スから更に電車で
 30分のモナコへ。二
 スからモナコへの車窓
 は、これまたY子イチオ
 シ!!とつてもきれいな



ら「同じ写真ばっか
 り…」と思ったこともし
 ばしばいけど、でもやめ
 られないY子。
 翌日は二スを散策。
 朝は海岸で寝転がってボ
 ーっと海と空を眺め、波
 と戯れ…：そしてシャ
 ガールやマティスの絵を
 みてぶらぶら街を歩
 く…：そんなゆったり
 とした時を過ごし、夜は
 ニスのお祭りを満喫。
 頭の上が紙スプレーだら
 けになってしまった二人
 でした。

二ス市内



ボンジュール!

まだまだフランスは深
 いけれど、フランスとも
 いよいよお別れ…。翌日
 二人は、ミラノへ向かう
 電車り、気分は次第にミ
 ラネーゼ。



イタリア

ミラノでの宿泊先を決
 めていなかったY子とR
 ちゃん。まずは宿探しか
 ら…：これが「超」

難航し、もう無理かも…
 という気分になされた
 もののRちゃんのおかげ
 で何とか宿を探し当て、

翌日はミラノ観光へ。
 その日は、Y子とRが
 一緒に旅行する最後の夜
 ホテルの近くのレストラ
 ンで、ワインで乾杯!!

最後の晩餐を楽しみ、翌
 日Y子は再びドイツへ向
 けて出発。Rちゃんはと
 いうと…ミラノで彼と
 待ち合わせて、イタリア
 の旅を更に続けます。

Y子は、電車でスイス
 を越え、ドイツはミュン
 ヘンへ。高校時代にお世
 話になったホストファミ
 リーのところで一晩泊ま
 り、再会を喜びあいまし

再びドイツ

た。残念なことに彼らは
 翌日からスキー旅行のた
 め、Y子は翌日撤収する
 ことに…。
 そして翌日はボンへ。
 当時、一緒にバレーボー
 ルをしていたシュテフィ
 という友達が住んでいる
 ところ。3年前から彼女
 は彼と同棲中で、ちょっ
 とお邪魔かとは思ったも
 のの、そこは持ち前の図
 太さで、泊めてもらった
 Y子。
 さらに、その後、彼ら
 から彼女をお借りして、彼
 女と二人でアムステルダ
 ムに3日間の旅行に出か
 けることに…。中学時代
 に英語の教科書で読んだ
 アンネの日記の舞台とな
 っている街です。(そっで
 す。恥ずかしながら全部
 読んだことないんです。
 Y子らしいでしょ?)
 「アンネの家があるここ
 るだあ」と、Y子の心は
 早くもうきつき。
 アンネもゴッホも有名

ですが、行ってみて、「何でもありの国である」といつのを何となく実感しました。麻薬も性もとても開放的…。



アムステルダム

彼女との旅行の後、日本から友達が来るまでの



2日間、Y子は一人旅に出ます。

そして…2日後の夕方、フランクフルト空港に到着した学生時代の友達R(フランスを旅した人とは別人)を迎えに行き、再びヨーロッパの旅が始まりました。

5日間で…

Rはとつてもマイペース。「何とかなるんじゃない?」とか「どーでもいいよね」というノリがY子と似てる。この前一緒に食事をした時は、何と…トイレで同じ行動をとっていたのです…。一回流しちゃうと、水が貯まるまで、流れないトイレありますよね。「もういいかなあ」と思って流すと後一步で流れなかったり…。それで二人とも、水が貯まったかどうか、水がたまるところの蓋を開けて確認してたのです。それは余談ですが、な

んと!Rはつい一週間前までは、アジアを旅行していたのです。にも関わらず、ほんの数日だけただけで、この日、はるばるドイツに来たのです。さらに、勢いで、5日間で3カ国をまわってしまおうという、とつてもハードなスケジュールをたててしまったY子達。

しかし、5泊のうち2泊、夜行電車で移動し、ミュンヘン・プラハ・ベルリン・アムステルダムそしてボンでのカーニバルを見学というスケジュールを見事やり遂げたのでした。(Y子のお肌は、

やや荒れ気味でしたが…。)これにはY子自身もびっくり。よくやった!という感じですが、各地で雪まみれの旅でした。

ここでオススメ情報。プラハは、ここ数年物価が高くなってきているものの、まだまだ易いのでオススメです。マックも日本の半額くらい。ポヘミアングラスも易く手入りますよ。

アムステルダムは夏は街路樹が生い茂っていて全体的な街の雰囲気はいいですが、建物がよく見えません。建物を見たい



ピアホールで歌う・踊る…でも未成年に間違われ…



Y子オススメの冬のアムステルダム。枯木だから対岸が見やすい!

方は、枯れ木の季節がオススメです。

編集後記



れた機内食を次々にたいらげたY子でした。(完)

ここまで読んでくださった方、有難ございました。今年は、卒業・就職という転機年だったので、Y子の学生生活を楽しく彩ってくれた皆様への感謝を込め、内容も大盛りサーピス気味でお送り致しました。

しかし、基本的には自己満足なので、「あー、読まなきゃよかった。時間のムダー」と思った方には本当にごめんなさい。

来年も、今年以上に素敵な年にしたいものです。世界も平和になりますように。

さて、旅に戻りましょう。Rちゃんは一足早く日本へ帰り、Y子は空港のロビーで一晩過ごしてから、機上の人に、養豚場の豚のように、与えら